

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	渉外・秘書事業		コード	担当課	秘書係
			06-01-13-03	担当者	山台 智子
事業実施期間	昭和46年4月1日～				
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行財政運営			
	小項目	その他事務管理			
	施策	秘書			
電話	0869(64)1800				

事業について	
目的	市長・助役職務の最大限の発揮及び市民をはじめとした関係者との円滑な交渉等が行われること
対象(誰のために)	市長・助役及び関係者
内容	渉外活動、市長・助役の事務補助、来客対応、要望書の受付、市長車の運行など

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)	
市長要望等出張回数	8回			
市長車の運行	14,186 km			
要望等随行回数	5回			

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,576	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	24,395	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	25,971	市債		合計	0	市債	
	一般財源等	25,971	合計	0	一般財源等	0	合計	0
	一般財源等		合計	0	一般財源等		合計	0

必要人員	2.85	人			
結果指標①	結果指標名	市長要望等出張回数			
	結果指標量	8			
	単位	回			
	対前年比	—	0.00%		
	事業費	308,980	円		
	単位当たりコスト①	38,622	円		
結果指標②	結果指標名	市長車の運行			
	結果指標量	14,186			
	単位	km			
	対前年比	—	0.00%		
	事業費	8,519,115	円		
	単位当たりコスト②	601	円		

事業の成果			
成果指標名	なし	式又は説明	実施内容の多寡にかかわらず必要であるため
成果指標量	17年度		
対前年比	—		
到達目標値	なし	到達目標年度	なし

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
直接事業費のうち出張旅費については、市長車の活用、出張の選別等により削減の努力をしている。		成果指標及び到達目標値については実施内容の多寡にかかわらず設定が難しく、有効性の評価は困難である。

総合評価	
コメント	目的・対象は妥当である。効率性についても、直接事業費の削減に努めながら継続する。
評価区分	<A~E> <b>C</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	10回程度	結果指標量②	15,000km
目標値	結果指標量	なし	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	コスト削減に努める	平成18年度~	事業費の削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。